

C系について先輩からのメッセージ

C系は、今の自分、過去の自分と素直に向き合える時間。
その授業を通し、未来・将来の自分について考えることができる。

C系の授業は、自分が今まで知らなかった、気付いていなかった自分を知ることのできる授業だと思った。時々、知りすぎて嫌になったりしたけど、あとでふりかえった時に、自分を他人に置き換えると、次はその人の心が見えてきた。

自分の内面の特徴を、知っている部分も知らなかった部分もひっくり返って見ることができる授業。

自分のことをふり返ったり、人の気持ちを考えたりするのに絶好の機会だと思います。自分は、この授業で自分について考え直したり、自分とコミュニケーションすることで、自分についてよく知ることが出来ました。

C系の授業は、授業としてではなく、自分を理解する時間として捉えてほしい。自分を色々な視点から見たり、考えたり、また他の人に対してもそういったことができる授業だと思う。

自分のことをこんなにも分かっていなかったということを知ることのできる講義です。分析的に自分を見つめなおすことで、今まで知っていたと思っていた自分が違って見えてきます。

C系の授業は、人の大切な目に見えないものを見る授業です。他人と自分とをよく知るためのいい機会になります。自分のことが嫌いだった人も好きになれるかもしれません。

C系の授業は「道徳」のようでした。と言っても、教科書を読んで「どのように感じましたか？」等の事をするのではなく、C系は「自分を見直せる」一つのきっかけ、教師になるための自分がどう変わればよいかを考える機会という意味での「道徳」です。

人とかかわり方について、コミュニケーションについて学ぶことはほとんどなかったが、この授業ではそれを学ぶことができる。実践型の授業なので、自分の身をもってコミュニケーションスキル等について学ぶことができる。「身に付きやすい」授業である。

コミュニケーション技術であったり、自分の内面と向き合うようなことが多いので、この授業は、自分の日常生活とリンクさせながら考えていくと、とても興味深い。

心理的な内容を取り扱うことが、誰でもとっつきやすく充実感を感じられる講義である。講義される先生も、一人一人違うのでいつも新鮮な授業ができるだろう。

「カウンセリング」と聞けば、相手の心を癒すものと思いがちだけど、この講義を受けることで、自分では気づかなかった、新たな自分の良いところや悪いところが見えてくるようになった。人とかかわる上での色々なヒントをくれる講義だと思う。

この授業では、「子どもの問題」やそれこそ「自分自身の問題」について、さまざまな異なった視点から光を当ててみることによって、問題を捉え、対処するための教師力を養うことができます。

この授業を受けて、気づくことや新たな発見を自分の中でできると思うので、ただ単に受けるのではなく、実習では積極的に、どういう意図があるのかを考えながら受けると良いと思います。

最初は「C系・G系ってどんなコトをするんだろう」と思っている人も多だろうけど、C系では、主に自分の体験、経験を基に授業、演習していくので、思うほど難しくはないです。自分のことを理解する手段、相手のことを知る手段等、学び、身につけることができます。

人の気持ちを考えると、自分を理解するという事は、教員になる上で必須だと思う。しかし、実際にこれらを身につけることは難しいし、ただ授業を受けているだけでは絶対に身につかないと思う。C系は、これらを身につける手助けになると思うので、いろいろ考えながらやってほしいと思う。

自分が知らない一面に気づくことができ、少し意識するだけで、日常の中で生かしていけるというものを発見できる授業です。鉄は熱いうちに打てというように、すぐに試してみたり、意識してみることで、自然に身につくものを多く学んだ授業です。

自分自身を知るよいきっかけになるし、また、そうすると相手のこともよく見えてくるようになる。今後の1000時間体験や教育実習に生かしていける授業である。

C系の授業は、自分と向き合わなければならないので少ししんどいですが、自分の知らない自分や周囲の友だちの知らなかった部分が見えてきて、新しい発見がたくさんあると思います。また、実践的な内容も多いので、基礎体験の場などで、役立てることができます。

G系について先輩からのメッセージ

今まで話したことのない人と話し合う機会があったり、協力したりできて、毎回の授業が、「次は何をするんだろう？」と楽しみになる講義です。また、自分について新たな発見をすることができ、もっと知りたいなと思えるようになりました。

実際にやってみなければ分からないことはたくさんあります。その中で自分が普段あまり気にしていない部分に目を向けることができる授業ばかりでした。

一人では気付かない「自分」に出会ったりする。他人の中に自分を見るっていうのは、こういうことなのかなと思ったりする授業です。

私は、人の気持ちを“うまく”くめる人は、すばらしいんだと授業を通して感じたので、みなさん頑張ってください。“うまく”くむとは、ただ相手の意見を尊重して、言うことを聴くのではなく、自分の意見をうまく伝えるために、相手の意見をうまく引き出すということで、決して相手に流されることではないと思います。

今、実際にやっている活動・授業を、日常生活のどんな場面で生きてくるかな、活用できるかなと考え、イメージしながらやると、授業全般がもっと意味深い物になっていくと思う。逆にそういうのを持ってやらないと、ただ何かこなしたという感じになってしまうと思う。だから、そういうのを考えながら、授業全般を受け、活動を行ってほしい。

すべて、自分にとって都合よく行くわけがない。グループワーク苦手な人もいるだろうし、嫌いな人と組むときだってあると思うが、意外と何とかなるもんだ。授業内容はすばらしいよ。

どの活動にも必ず自己分析という作業がついてくるが、これに辛さを感じる人が少なからずいると思う。しかし、これを乗り越えれば、何かしら自分の中に見えてくるものがあると思うので、頑張ってください。

『自分とは…』いろいろな場面で「自分ってこんななんだ…」って気づかせてくれるとっても楽しい時間でした。

『気づきの学習』C系・G系では、その時間ごとに振り返る時間が設けられている。そのため、その時間の中で、何かしら自分や相手について気づき、それを紙におこすことで、自分自身の意識に定着しやすいと考える。また、何かに気づくためには、コミュニケーションに苦手意識や課題意識を持っている方が良いと思う。

自分の思いを声に出してみよう!!!

毎回興味の引きつけられる教材なので、楽しく取り組むことができます。その中で自分とは違う考え方を知り、「こういう考え方もできるんだ」と自分の思考能力が深まっていくと思います。

活かし方は自分次第だと思います。

自分の価値観が広がる授業です。そして、一番頭を使う授業だと思います。

一人では身につけることのできない力を、G系では学べる、そして力がつく。

他専攻の人とかかわることができ、人間関係が広がります。

知っている人の新しい一面が見れたり、全く知らなかった人がなんとなくどういう人か分かったり、自分についても新しい発見ができるものだと思います。私は、G系をやる前よりも、人と関わることが楽しくなりました。

教師になってから実践的に使えそうなゲームをたくさん体験できたし、自分自身の課題も見つかったし、収穫の多い授業だと思います。

やっていることは、楽しいゲームの様な事かもしれない。でも、きっと自分の中に新しい、今までなかった何かが芽生え、また失くしかけていた何かがよみがえる。そんな事があるのかと思うのかもしれないけど、必ず自分の身につく。全部、出席してよかった。

自分と他人を見つめなおすことができる授業です。また、自分と他人との差を受けとめて、差があることを当たり前だと素直に感じることができます。

多人数の中で生きていく私たちに
とって必要なスキルを学ぶ場所。

この授業で学んだ内容は、もちろん教育学部として教育現場で活かせることが望ましいが、それ以外の場や自分の実生活の中でも考えることができることを学べる内容だと思う。“人間力”“コミュニケーション力”が非常に分かる、身につく学習でした。

楽しく真剣に活動できますたくさん自分の中で考えて、たくさんそれを相手に伝え、話し合ってみると、どんどん自分の考えは変わっていきます。

他の授業とは違って“自分を出す”場面が多くあるので、言いづらいときもあるとは思いますが、「この時間だけ」と思って、自分を出してみてください。また、相手の話にも、正面から聴いてみることで、自分の知らない新たな発見ができるはずです。

この授業は、もちろんこれから自分が学級経営するにあたって大いに役立つと思う。しかし、それだけではなく、日常生活をおくる上で大切な“人との円滑なコミュニケーションのコツ”というの、意欲的に取り組めば身につくだろう。

自分自身の普段立ち止まって考えることのない、けれどいつかは立ち止まって直視しなければいけない問題点や課題にじっくり向き合うことができる授業です。

このG系では、コミュニケーションの仕方には様々なものがあり、その一つ一つに利点があるんだなということに気づかされた。人数によってかわりやすかったり、そうではなかったり…、二人のあいだに一枚の紙があるだけで話が深まったり…など、いろいろな相互作用が関わりやすさを決めている部分もあるんだと感じた。

悩んでも悩んでも解決しなかった部分へのちょっとしたヒントを与えてくれるものです。

G系の「G」とは、
がんばって自分を出そう！
ギブアップせずにとことん話し合おう！
グループ内での自分の役割を見つけよう！
元気な声で楽しく活動しよう！
誤差（すれ違い）を大切にしよう！

の略だ!!